



## 第15回敦賀港サロン懇談会を開催しました。

平成26年11月13日（木）、敦賀に関連する日本海沿岸地域の郷土史を調査研究している市民グループ「日本海地誌調査研究会」と当事務所が敦賀港について意見を交換する「サロン懇談会」を敦賀市で開催しました。同懇談会は、行政や港湾関係者だけでなく、様々な分野の方々の意見を敦賀港の整備に活かしていくため、平成12年から毎年開催し、今回で15回目の開催となります。

開催にあたり、敦賀港湾事務所吉田所長が「この懇談会は、平成12年から開催されております歴史ある懇談会でございます。皆様からの忌憚りの無いご意見を賜ればと思っております。」と開会の挨拶を行い、続いて日本海地誌調査研究会の繁田会長から「敦賀港湾事務所は、敦賀港のみならず北陸地整管内の新潟、富山、石川と広範囲の資料を持っているので、敦賀港の立ち位置などを研究するのに非常にありがたい懇談会だと思っております。」と挨拶を頂きました。

その後、当事務所の廣木企画調整課長から「最近の港湾行政について」、石井企画調整係長から「敦賀港鞠山防波堤の整備について」の二つの情報提供を行いました。

意見交換では、「港湾施設の耐用年数を伸ばすための対処法とは」、「北極海航路への日本の取り組みや開設による敦賀港への効果は」、「敦賀港を戦前のような地位に回復させるためには」など、様々な意見や質問が出され、活発な意見交換の場となり、敦賀港への期待の大きさが伺えました。



繁田会長の挨拶



意見交換の様子



情報提供の様子1



情報提供の様子2